

博物館,図書館,文書館,公民館 (MLAK)

東日本大震災被災・救援情報

saveMLAKプロジェクト2011.4.11始動



東日本大震災を受け、博物館・美術館 (Museum)、図書館 (Library)、文書館 (Archives)、公民館 (Kominkan) (以下、MLAK) の関係者及び支援者では、各施設の被災情報・救援情報を集約した「saveMLAK - 博物館、図書館、文書館、公民館 (MLAK) の被災・救援情報サイト」(以下、saveMLAK: <http://savemlak.jp/>) を開設しました。

saveMLAKでは、被災した施設や人々が、どのような被害を受けているのかという被災情報、どのような支援を必要としているのかという救援情報を集め、集約していくとともに、被災した施設や人々に対して、博物館、図書館、文書館、公民館といった施設やそこに関係している人々ができること、必要と思われることを提供していきます。



◆saveMLAK◆

博物館 (※)、図書館、文書館、公民館 (MLAK) の被災・救援サイト saveMLAK は、東日本大震災で被害を受けた被災地域の文化・歴史を支え、地域の交流・学習・情報拠点としての役割を担ってきた博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報を集め、その情報を共有することを目的としたサイトです。

<http://savemlak.jp/>

Twitter: @saveMLAK

ハッシュタグ #saveMLAK

※博物館・美術館以外にも、科学館、プラネタリウム含む天文施設、動物園、水族館、植物園、記念館、民俗資料館など、広く関係施設を含みます。

MLメンバー239名 (2011/6/8現在)

◆専門技能ボランティア募集中◆

saveMLAK では、被災地への直接・間接の支援にあたる博物館・美術館、図書館、文書館、公民館 (MLAK) の運営に関する専門技能を持つボランティアの登録を受け付けています。趣旨にご賛同いただける方は、「saveMLAK 専門技能ボランティア (プロボノ) 登録フォーム」のページよりご登録ください。積極的なご参画をお待ちしております。

<http://bit.ly/saveMLAKform>

※登録者の概要: 現役の司書・学芸員、国内外の保存修復専門家、翻訳、司書・学芸員資格取得者、埋蔵文化修復家、展示修復関係、情報デザイン専門など

登録者数 92 名 (2011/6/8 現在)

◆saveMLAK プロジェクト◆

saveMLAK は、博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の関係者や支援者等の有志によって構成される saveMLAK プロジェクトが運営しています。

- 2011/3/11 東日本大震災
- 3/12 savelibrary 開設、savemuseum 開設
- 3/13 savearchives 開設
- 3/16 ML A スカイク会議
- savekominkan 開設
- 4/4 第1回 Meet Up 「saveMLAK」へ
- 4/11 プレスリリース saveMLAK 始動
- 4/19 第2回 saveMLAK Meet Up
- 4/23 緊急討議「東日本大震災 被災支援と MLAK - いまわたしたちにできることは」
- 於: 学習院大学 およそ 500 名参加 (当日会場参加者: およそ 400 名・インターネット中継: 100 名以上)
- ・4月23日 NHKニュース 「被災文化施設の支援で議論」 <http://nhk.jp/N3vL6VWs>
- 4/24 第1回うきうきウィキ祭り
- 4/30 第2回うきうきウィキ祭り
- 5/10 第3回 saveMLAK Meet Up
- 5/18 第3回うきうきウィキ祭り
- 6/4 第4回うきうきウィキ祭り
- 6/9 第5回うきうきウィキ祭り
- 6/19 第6回うきうきウィキ祭り

お問い合わせ先: saveMLAK パブリック・リレーションズ担当: 岡本、山村、北岡

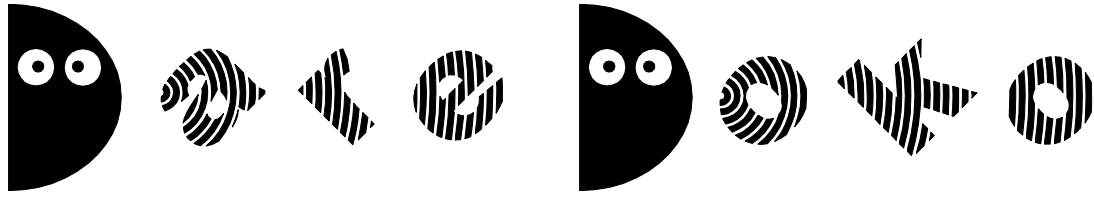
E-mail: pr@savemlak.jp 電話: 070-5467-7032 (岡本)

住所: 神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 2F さくら Works<関内>

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内 saveMLAK プロジェクト

2011/6/8 作成

「情報の力」でお答えします。



だれでも・どこでも

Q & A 図書館

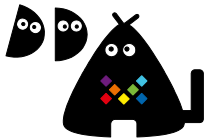
～ 史上最大のレファレンスサービス ～

博物館員、図書館員、その道のスペシャリスト・・・「情報のプロ」が協力して、
被災者・避難者・ボランティアのみなさんの疑問にお答えします。
生活に必要なこと、復興に関すること、学術情報、日々の疑問など、お気軽にお問合せください。

<http://savemlak.jp/wiki/daredoko>

調査依頼は上記Webサイト内の専用フォームからお申込みください。

無料でご利用いただけます。また、本サービスの詳細は、上記Webサイトをご覧ください。



だれでも・どこでもQ & A図書館は、
saveMLAKのプロジェクトです。



お問い合わせ: daredokoqa@gmail.com

【図書館員のみなさまへ】「だれでも・どこでもQ & A図書館」では、
被災地図書館からの調査依頼も受け付けています。
また、「回答団」（調査にご協力いただける方）や事務局にご参画いただける方も募集しています。
ぜひ、サイト内登録フォームからご登録をお願いいたします。

発起人: 国立国会図書館レファレンス協同データベースサポーター有志/賛同者(五十音順): ●レファレンス協同データベースサポーター有志: 江草 由佳(国立教育政策研究所)、岡本 真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)、進藤 つばら(東京都立中央図書館)、高久 雅生(物質・材料研究機構 科学情報室)、林 賢紀(農林水産研究情報総合センター)、宮川 陽子(福井県立図書館) ●レファレンス協同データベース企画協力員: 齊藤 誠一(千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科准教授)
●その他: 井上 昌彦(関西学院聖和短期大学図書館)、高辻 亜由美(奈良県立図書館情報館)、豊田 高広(田原市図書館)、中山 美由紀(東京学芸大学附属小金井小学校)、外崎 みゆき(関東学院大学図書館)、川上 努(G-Links)

ライブラリー×ウェブの力を飛躍させる

Code4Lib JAPAN

<http://www.code4lib.jp/>

図書館員のICTスキルアップのための研修ワークショップの開催、
ICT関連の提言などを行っています。

復興支援・震災対策ワークショップの開催もお引き受けします！

お問い合わせ先: <http://www.code4lib.jp/contact/>

※Code4Lib JAPAN(コード・フォー・リブ ジャパン)は saveMLAK に協力し、機材提供、ICT環境へのアドバイスをしています。

だれどこくん & MLAKくん by 渡辺ゆきの(<http://kumori.info>)